

「寒河江市学校施設整備計画」地域説明会 質疑応答

会場：高松小学校 体育館

日時：令和4年5月26日（木）19時30分から21時15分

参加人数：34名

出席者：教育長

学校教育課長（兼）学校再編整備室長

学校再編整備室 室長補佐（兼）係長

学校再編整備室 学校再編整備係主任

(質問者)

今説明がありましたが、この計画があたかも決まったかのように説明されたような気がするんですが、これはまだ教育委員会の判断で正式に決まってないと私は思っています。あと同時にさきほどの説明にもありましたが10年後20年後を見据えた学校再編であればもっと市民の声、もっと慎重な検討が必要ではないかと思います。先ほど説明ありましたように2年数カ月検討されたとありましたが、市民に私たちに知らされたのは私は山形新聞で知ったのですが、その後パブリックコメントがあって非常に短期間の中でこの計画が策定された、と。私もパブリックコメントに意見を出しましたが、他の

方も30人の方が50件ほどの意見を出しましたが、ほとんどの方が中学校は2校案がいいのではないかと、陵西学区に小学校が1つもなくなるのは不安だ、地域コミュニティがなくなるのは不安だ、という声が圧倒的に多かった。ところが、それに対する教育委員会の結論は、変更なしということでした。今日の説明会も、意見を聞いて計画はそのままでやるっていうのでは非常に市民の声が反映されていないとなるのではないのでしょうか。あともう1つ、この計画について良く知られていないという点においては、学校だよりも、高松小学校の校長先生がいらっしゃっているかわかりませんが、学校だよりも決まりましたと書いてありました。私は、決まったということにびっくりしたのと、校長先生がそういう認識であることにびっくりしました。実際まだ市議会にもかかっていない事だし、計画案ということで、こういう点でもこれからももっともっと市民の皆様、多くの方に意見を聞いて慎重に時間をかけてやっていただきたいなと思います。

もう1つは、佐藤市長が市政で子育てするなら寒河江市ということで大変頑張っておられることを大変高く評価しています。山形新聞の中に寒河江市長から寒河江市が広告だしましたね。いろんな施策をやっているんだと。今後も子育てがんばるんだと。やまがたの街というものにも寒河江市の宣伝があります。ところが、こういう政策と今度の学校再編の計画は矛盾するのではないかと。さきほどありましたが、学校がなくなれば地域の拠点がなくなってしまう、特に陵西学

区から1つの小学校もなくなってしまえば、若い方がここに住むだろうか。パブリックコメントに出しましたが、そしたら回答としては大きなまちづくりのなかで考えていくということでしたが、具体的な内容はよくわかりません。慎重にやっていく、子育てするなら寒河江市というのであれば、学校を拠点にしていくことと、陵西学区は子どもたちが少なくなったので、どうしたら増やしていくかというまちづくり市づくり、市の将来を見据えた展望も含めて学校を拠点として発展させていくということが必要ではないかと思います。最初申し上げましたが重要な問題です。10年後20年後、寒河江市の将来に関わるわけですから、慎重に市民の声を聞いて、早急ではなく、ガス抜きでもなく、声を反映させるというものにしていただきたいと思います。以上です。

（学校教育課長）

この施設整備計画はまだ決まっていないというお話でしたけども、決まった計画になっております。市議会にかかっていないというお話でしたが、教育委員会の議決で確実に決まったということです。子育てするなら寒河江市の施策と矛盾するのではないかということですが、子どもたちのことを考えた統合ですので、ご理解いただければと思います。

(質問者)

市議会で学校設置条例の一部改正案を可決されて正式だと思えます。教育委員会の案としては、学校の設置、名称をどうするか決まっていなわけですから、正式には決まっていないという状況だと思えます。

(学校教育課長)

計画的には決定で、条例の改正は、学校の名前とか場所とか決まってから条例改正になると思うので、計画的には決定とご理解いただければと思えます。

(質問者)

説明を初めて受けたわけですが、まずは説明に来ていただいてありがとうございました。質問がいっぱいあるので、1つ1つ聞いていきたいと思えますが、時間かかると思えます。ときどきマイクお渡ししますので、いろんな人の意見を聞いてやっていただきたいと思えます。私も山形新聞を見て、そして、パブリックコメントにも意見を出しています。まず今日説明をうけたわけですが、さきほどの質問に対して回答があったのでお尋ねしたいのですが、学校施設整備計画の策定の仕方が間違いだと指摘したいと思えます。なぜかというと教育委員会で決定するのだから、合議、で決定した。それはいいんです

が、教育委員会で決定する権限があるにしても、広く市民の声を聞くということで、あり方検討委員会を設置して2年5か月ですか、協議検討してきたわけですね。そして、重要な部分で両論併記となった。それを受けて市内4地区で説明をして、最終的に市民の声を聞きながら教育委員会が決定するということがあったと思います。しかしコロナの結果2ヶ所だけやって、あと2ヶ所はしないという対応をしました。教育委員会で決定した。さきほどもいったし、確かに教育委員会は合議で決定することもできます。最初から検討委員会を作らずに決定することもできます。しかし、今、住民自治、市民本位の姿勢、市民が主権者という時代には、広く市民から意見を聞いてとやってきたのですが、両論併記のものを2ヶ所だけで説明して教育委員会が決定した。この教育委員会の判断は間違いだ、と指摘させていただきます。そのことはパブリックコメントでも書きましたが、その後、分かったことがあります。3月に教育委員会で決定しました。ところが、その諮問を出しておいた前の教育長が辞任する。任期を残して、任期全うしないで。そして、今の佐藤教育長にバトンタッチ。こういうスケジュールができていたために2ヶ所の説明会をとばした、と私は思いました。これは2人の教育長の身の振り方のために、寒河江市の50年後を展望したこういう計画を市民の声を聞かないで教育委員会だけで決定して、そして、前の教育長はやめた。そして新しい教育長に引き継いだ。市民が主権の50年先まで展望した方針を決

定するのに、予定した説明会を半分しないでやるというのは、言語道断。したがって白紙に戻してもう一度検討委員会が検討して、答申を出したことを踏まえて、市民の声を聞きなおして、教育委員会が決定する、という対応をすべきだと私は思います。問題だということを指摘したいと思います。答申を出したところまでもどって、間違いのない判断をすることが1つです。たしかに、全国的に少子化で子どもの数が減っております。どこでもです。すべてです。ただし、偏りがある。地域の偏りがあります。都会と過疎地、地方との格差がある。寒河江市も全体的には人口が減っており、学区ごとの差がついてきている。これはまちづくりと連動していると思います。働く場所や住居、利便性、それらのものを総合的に作り上げていかないと格差はますます出てくると思います。そうしたときに陵西学区が今回学校を統合して、小学校も中学校もなくなるとなったときに、西部地区の様々な問題をからめて良く働くのか悪い方に働くのかというと悪い方に働くという気がします。農協の支所もなくなる、金融機関の窓口がなくなる。そして、学校がなくなるとなったときにどうなるのか。いろいろな人と話をすると、昔みたいに、みな地域に学校があるとはいかないのだという人もいます。そういう考えも理解しますが、全体的には人口は減っていくにしても、このエリアの人口がぐっと減っていくのは避けていかなければならない。コミュニティ・スクールだけでは、総合的なまちづくり、クラス的环境づくり、とあわせて学校の

問題を論じていってほしいなと思うし、そういうことを地域のみなさんがどのように考えていくのか。教育委員会は、そういうことについて、それは教育委員会と関係ないということではないと思います。学校再編が地域の今後の振興策にプラスにはたらくのかマイナスにはたらくのかを明確にしていきたい。

(学校教育課長)

あり方検討委員会の方で2年5か月間検討していただいた中で市民の声は反映していると考えます。説明会が4回のうち2回しかできなかったことは、コロナの関係でできなかったこともありご理解いただきたいと思います。

(質問者)

重要なことであれば、教育長辞任があったり。

(学校教育課長)

前教育長とは関係ない話だと思っております。

(教育長)

まちづくりという大きな枠の中で考えていかなければならないとのご指摘がありましたが、その通りだと思います。教育委員会は学校の

ことを主に担当しておりますが、市の担当部署とも一緒に考えながら地域のコミュニティの活性化を図っていく必要があると思います。そういった中で、公民館、コミュニティセンターの役割が大きくなると思うし、学校でもコミュニティ・スクールということで地域との結びつきを強くしていくことが大切です。地元の方にコーディネーターをしていただきながらそうした結びつきを強めていけるようにやっていきたいと考えているところです。

(質問者)

学校統合なのですが、楯岡支援学校について、その時の説明会では、交通の便がよく、その方々と一緒に勉強すれば健やかに育つという説明会をうけております。今後、醍醐小学校と統合になった場合、楯岡支援学校のあり方がどうなっていくのか。全然わからなかった。醍醐小学校は、慈恩寺として、観光地としてがんばっている気がします。ですが、287号からすぐ近くで学校の立地としてはどうなのかな。うるさくないのか。渋滞、慈恩寺橋は渋滞します。その中で登下校するのは大丈夫かなと。もう1つ、高松地区のこども育成連合会は、全国表彰を受けた方が3名いらっしゃいます。コミュニティ・スクールも地域の温かい目があります。歴史的なこととか、特別支援学校のこととか考えれば、高松地区に統合していただけないかなと思っております。新しいからいいというのはどこか違うのかなと思います。

（学校教育課長）

楯岡特別支援学校の質問ですが、県の学校となりますので、県との調整となります。高松小学校は校舎の老朽化が進んでいます。建築年が浅い醍醐小学校に統合するとなったところです。高松地区の子ども会活動が活発であるということは、聞いております。統合しても高松地区のこども会は残るわけで、学校全体で継続して、活動できると思います。

（質問者）

なんとなく理解できる。高松地区は、保育所は高松小のプールを使ったりしている。例えば醍醐小学校、保育園、学童の送り迎えが不便になることはないのかなと思います。いろいろなことを話し合っただけで済んだのかなと思います。

（学校教育課長）

学童とか保育に関しては、小学校は統合しますが、これからの検討事項になると思います。

（質問者）

住みやすいような地区になるように配慮をお願いします。

(質問者)

現在、小学校の情緒学級でお世話になっております。普通学級を対象にした説明・設備だったと思います。今現在、発達障がい、と診断受けている子どもさんは寒河江市内どんどん増えていると思います。そういう子どもさんの対応をどういうふうに検討しているのかなと思いました。中学3年生は進路を決めなくてはいけないし、親としてはすごく不安な時期に新校舎で学ばせなければいけない。普通クラスもちろん新しいクラスが不安ですし、なおかつ情緒学級にいるような子どもはまわりの環境に慣れるのか、新しい先生との関係を築くといことも1からしなくてはいけない。そういうことが出てきます。教育委員会として情緒学級、特別支援学級、保護者に対する新校舎で対応する説明ができるかどうか、今後していただけるかどうかを聞きたいです。

(教育長)

学校の造りともかかわってきますが、特別支援学級の場所であったり、スペースであったり、また、あり方であったりは、当然、通常学級と同じように、子どもたちが学びやすいように、落ち着いた中で活動ができるように十分配慮していきたいと思います。統合前にも生徒会同士の話し合い、同じ学年の交流会などの機会を持ちながら統

合した時の不安な気持ちを少なくするとように十分考えて対応していきたいと思います。

（質問者）

今後の要望として、こういった指針などが決まったら、個別でもいいので、普通学級対応、特別支援学級対応について、保護者側にその都度伝えていただけるとわかるので、情報を市民に提供していただくと大変うれしいです。

（学校教育課長）

情報提供を検討したいと思います。

（質問者）

保護者会で入学当初から聞いていたが、年一回の総会でそういう話はあると保護者は聞いているが、その他の方に伝わっていないのはもったいない。正直5年前から聞いている話とそんなに変わりはない。あり方検討委員会でコロナ前から検討をはじめて、コロナうけてから2年くらい検討していると思うが、ICTはもちろん大事ですし、少人数学級もうれしいが、今考えている感染症対策について教えてほしい。要望として、下の子が統合中学校1年目か2年目にお世話になる予定だが、小学校ジャージとか学校で決めているものをできる

だけおさがりができてかわいいものにそろえていただけるようにしてほしい。どのようにしていくのかを後々でもいいのですが、今のうちにそこもあわせて考えていただきたいと思います。学童がどこにどう設置されるのかといったことがいつ頃決まるのかイメージなど、あと3年後で小学校が移転して生活を変える必要があるので、めどとかイメージがあれば教えてほしい。

（学校教育課長）

コロナの関係ですが、感染症対策を考慮した新しい学校の設備を考えています。ジャージなどは、これから検討になりますので検討委員会を立ち上げ、いろんな意見を聞きながら考えていきたいと思っています。

（質問者）

コロナの対策というのは具体的にどういうことを検討されたのですか。

（学校教育課長）

水道の蛇口の自動水栓など、非接触型などです。

（質問者）

雪国ですし、窓を開けないで換気のシステムなど考えていらっしゃるんだと思うんですけど、考えている雰囲気伝わってこないのがもったいないと思います。せっかく説明会していただけるのであれば、こういう対策を考えていますというのをいろいろ出していただかないと。聞いてなかった、みたいな話になるよりも、こういうふうにいるいろいろ考えているんだ、じゃあ楽しみだなと思えるような説明会に今後していただければと思います。

(質問者)

寒河江市の中学校3校が統合される。標準学級数12から18に対して、なぜ倍の30クラスの学級数にするのか。説明を聞いて子どもたちの将来のためにというテーマがありますが、結局説明を聞くと資源を1つにしてというイメージが出てしまって、子どもの将来というよりも施設整備を重視した内容になっていると感じました。いじめに対する対策が検討中ということもありまして、学校のスペースを広くとって目隠しになる場所がないという説明だけでは、保護者としては納得がいかないというか、今のいじめは学校だけでなく塾とか学校外でも起きている。今起きている学校のいじめ問題をブラッシュアップしていただいて、そこから対策をとっていただけないかなと思いました。

(教育長)

ありがとうございます。いじめに関して、構造的にはなるべく死角がないようにというのはありますが、さきほど見ていただいたように、子どもたちの気持ちがゆったりできるスペースも確保したいと思っています。狭い中でたくさん子どもたちがいるよりも、教室の中だけでなく隣の廊下のスペースを使って活動したり、休み時間に座って友達と話ができるとか、そうした気持ちの面でのリラックスできるスペースがとても大事だと思います。新聞等の報道でも、小、中学生でもいろんなストレスで気持ちがうつ状態になっている子の割合も多いのではないか、そうしたことが不登校につながっていくのではないかと指摘されています。なるべくストレスが少なく、少しでも発散できるような環境が、いじめ防止につながるのではないかなと考えますし、そういった対応をしていきたいと思っています。大規模であればいじめがどんどん増えるかということ、そういうものでもないと思います。子どもたちの話を聞いたり、子どもたちが力を発揮できる学校を作っていくと、いじめの問題が減っていくということも実際あると思いますので、学校の経営、運営していく中で考えていかなければならないと思っております。標準学級数についてですが、あくまでも標準的な学校ということで、このほかに、過小規模校、小規模校、標準から大規模校、過大規模校というふうになります。その中で中学校を1校にした場合は、大規模校にあたります。いわゆる過大規模校、

これは大きすぎるので分割すべき範囲になるのですが、これには入らないということです。例えば、大規模校の30学級の場合、生徒数が40人の学級であれば、1,200人規模になりますが、それに比べれば人数的には少ない。さっき、学年10クラスといったのは、山形県はさんさんプランを行っているので、1クラス33人で考えていくと10クラスということです。もう1つは、パブリックコメントでも書いていますが、2校案とした時に、あり方検討委員会の議論の中でも学区を新たに分けてというのは、それはそれで問題が大きいだろう。陵南中と陵東・陵西の統合の2校案という想定があったかと思うのですが、陵東と陵西の生徒数を足していったときに、今いる子どもたちの数で推計すると令和13年には今の陵東中学校の生徒数よりも少なくなってしまう。今後もそういった状況で減っていくことが予想される。そうすると陵東・陵西を統合したときの学校の学級数が減っていく、ということは、教員数も減っていくということになります。教員数はクラス数で決まりますので、それぞれの教科でこれぐらいの人数がいればという教科の人数が満たせなくなるということも考えられます。例えば理科の先生が臨時免許を申請して数学を教えることがでてくる、そういったことも避けたい。今後10、20年後を考えた時に1校、生徒数は多くはなりますけども、1校の中で教員も十分いる中でやっていければ、また、いじめの話があったんですけども、クラス数が多いと教員数も多いわけですので、いろんな

面で職員から子どもたちに目が届くということもあると思います。そうしたことを総合的に考えた時に1校ということで計画を立てたということです。

(質問者)

2校に編成にする時の学区編成が難しい理由を教えてください。

(学校教育課長)

あり方検討委員会でも学区の再編は話題になっていたところです。学区をあわせるのはいいのですが、学区を分断するのはなかなか難しいという判断になったんだと思います。実は過去にも学校編成をしようとした時がありまして、その時にもいろいろと難しいことがあったと聞いているので、それもあったんだと思います。

(保護者)

すべて納得できたわけではないですが、親としても決まったことに対しては子どもに説明していきたいと思いますので、大きい学校を作るうえで起こりうる問題を細かにブラッシュアップして検討していただければと思います。

(質問者)

今までの説明を聞いていますと財政の問題が中心であんまりお金をかけたくないという点で、子どもを中心に考えた案ではないと思います。学校を新しくするのであれば、なぜ高松小学校を新しくすることを考えられないのか。どうも公共施設を少なくするという設定になっている感じがします。同時にさきほどありましたけども決まったことだとおっしゃっておられましたが、法的には決まらないです。教育委員会の案が今、出されているわけですが、市長はどう考えているのかと疑問をもっております。いかがでしょうか。

（学校教育課長）

計画については策定された計画としてご理解いただきたいと思えます。学校設置条例については条例改正が必要ですが、計画は決定しましたので、ご理解いただきたいと思えます。市長の考えは総合教育会議や市長部局との会議でもこの計画はだしてあり、市長も理解していると考えております。

（質問者）

他のところでもいろいろ聞いてみたのですが、計画が出されたあとも変えたというところもあります。したがって、このままいくというのは、どうなのか。みなさんのいろいろな意見を聞いて慎重にいくべきではないかと思えます。

(学校教育課長)

計画の細部についてはこれから検討してきたいと思います。

(質問者)

最初聞いた、陵西地区については小学校がなくなるということで、まちづくりを大きな枠の中で考えていくとコメントもいただきましたが、具体的にわかりません。教育委員会サイドだけで考えられるものではないと思います。市全体にかかわる問題ですから、そういった検討はされたのでしょうか。

(学校教育課長)

市全体の公共施設整備計画の策定中であります。高松のことですとかまちづくりは市長部局で検討することになっております。

(質問者)

それが明らかにならない中で学校再編だけが進むのはおかしいのではないか。

(学校教育課長)

公共施設関係では、学校が先行している状況ではあります、公共施

設の計画については策定中であります。

（質問者）

学校の設置場所の件ですが、寒河江を中心とした市街地に学校が集中しているような気がします。西部地区から学校がなくなり、今の陵東中学校のところに小学校が行く、そして、中学校は、陵西中学校が一番小さいので、陵西学区に作るのは考えにくい。そうすると陵南中学校も50年前できたときは、田んぼと畑の中にぽつんとあって、市立病院と陵南中学校の建物だけだった。50年の間に宅地がずいぶんできました。陵東中学校も同じ、近隣を見ると河北中も田んぼの中でした。それが住宅地になっている。その人々は、郡部からきています。市街地のほかの郡部の活性化をどうはかっていくのか。核家族化が進むなかで、今度家を建てようという時に、じゃあ学校の近くかとなると、ここから若い人がますますいなくなります。地域の活性化と高齢化がますます進み、少子化が進む、郡部の教育、郡部の活性化はどうかということはどうお考えになって策定したのか、お伺いしたいです。

（学校教育課長）

あり方検討委員会でも出された意見です。大きなまちづくりの枠のなかで活性化を図っていきたい、学校がこれまで地域の核になって

きたが、学校がなくても違うものを核としてまちづくりを進めていきたい。具体的にはまだありませんが、地区公民館とか何かを核として活性化の検討を進めていきたいと考えております。

（教育長）

それぞれの地域の活性化ということについては、大変大事なことで、市全体として考えていかなければならないと思います。教育委員会として考えていかなければならないのは子どもたちの教育環境だと思います。子どもたちがどんどん少なくなっていくなかで複式学級も増えてきている。そうしたことを解消していくということを考えて整備計画を作っていく。地域をどうするかは大きな問題ですので、公民館などをうまく核にしてやっていくのが1つの方策だと思います。その他いろんな知恵を出しながらやっていくことが必要だと思います。

（質問者）

この決定は白紙になりますか。なりませんか。

（学校教育課長）

白紙にはなりません。

(質問者)

やるという前提で、高松小はだいぶ古いので、もし白紙になると、また策定してとなる築年数が増え、危険だなあとと思います。安全に学ぶのが一番だと思い、その点がいいと思います。この決定は、やりますよということは、子どもたちにも説明されますか。これは親が説明するものですか。子どもたちに今からこうなるんだよというビジョンを提示しているとすんなり入ると思いますし、子どもたちも不安はあると思うし、そういうところは、どうお考えですか。

(教育長)

おっしゃるとおりだと思います。いきなり統合では子どもたちもびっくりしますし不安にも思いますので、その前に数年かけて統合に向けて同じ活動をしたり、例えば幸生小学校から白岩にくる時も年間に何回か一緒に活動を取り入れたりして、人間関係づくりや不安解消をしました。それと同じように醍醐、白岩、高松小学校の子どもたちの合同の活動等を組んでいながら、お互いに人間関係を構築したり、一緒にこういう事をやっていこうと、統合に期待がもてる雰囲気づくり、取り組みをやっていきたい。

(質問者)

中学3年生の受験の年に統合されるのでご配慮いただけると助かり

ます。統合というのも1つの経験だと思いますし、適応力、力をつけるのはいいことかなと思っております。いろいろと納得のいかない方もいらっしゃると思うんですけども、子どもたちは、いろんな人との出会いが1番だと思うので、いろいろと配慮いただきながら進めてもらえると思うので、よろしくをお願いします。

(質問者)

学校がなくなるということではなく地域の核がなくなるということ踏まえていろんなことを進めてほしい。説明会が終わった後の手順、ロードマップのままでいくのか。いろんなスケジュールがあると思うので、わかる範囲で教えてほしい。新校舎建築ということで、今年度中に用地選定と書いてありますが、これをどのように進めるのかなど考えなどを教えてほしい。

(学校教育課長)

用地の関係ですが、これから庁内で候補地の選定委員会を立ち上げます。教育委員会の中でだけで決めるわけにはいかないなので、いろんな問題点があると思いますが、今年度中に用地を選定したいと思っております。ロードマップのとおり進めていきたいと考えております。

(質問者)

先ほどの児童数の推定の資料で、高松小学校だけ児童数がぐっと減っているのはなぜか。

(学校教育課長)

この表は寒河江市の人口ビジョンをもとに推定されたものです。合計特殊出生率が将来的には、2.0を超える数字で計算していますので、人口が増える数字になっています。

(質問者)

説明というのは、まちがった数字で説明しているということですか。

(学校教育課長)

実際の数字で推計しております。

(質問者)

楯岡支援学校の関係で、整備計画によると高松小学校は統合されるということですが、今後県と協議をするということですが、高松小学校の中にあるんですが、統合すると醍醐に行く、一緒というふうに教育委員会は考えているのか。それとも高松小学校はいつでも特別支援学校はそのまま残す考えなのか、市教委として県と協議成立した

段階でどういう考えなのか。市教委の見解をお聞かせください。白紙とは答申で中学校を1つにするか、2つにするか。そこまで戻して市民から意見から聞いて決定したらどうですか。企業もリスク解消ということで全て一極集中はだめだという流れになっているので、中学校を複数にするのが将来のリスク軽減の観点からも絶対必要だと思う。陵東・陵西がだんだん減っていく。だから陵南と一緒にするという考え。ということをお聞きすれば、陵西学区、陵東学区がだんだん衰退していくということ。市として政策的に、学校を残して町づくりをしていくという構想を考えないとだめだと思います。ぜひ、このことをしっかり考えてほしい。説明会でいろいろな意見を聞いて、教育委員会で決めたことであっても、もう一度見直していくという姿勢がなければ将来の地域づくりに禍根を残すことになります。こういう説明会で出た意見を計画に反映するようにしていくべきだと思います。

（教育長）

計画に関しては課長より説明したとおり手順を踏んで行ってきました。説明会を行って心配なことを出していただき、今後の学校づくりに活かしていきたいと考えております。

（質問者）

楯岡特別支援学校については。

（教育長）

県立学校ですので、県と協議していくということです。現段階では決まっておりません。

（質問者）

そのまま残るということもありうるということでしょうか。

（教育長）

可能性としてはなくはないと思いますが、今後検討していくということしか、今は申し上げられない状況です。

（質問者）

高松小学校と一緒にしているわけですから、高松駅から近いということもあるし、保護者の声を反映するようにすべきだと思います。

（教育長）

そういった方向で考えていきたいと思っています。

（質問者）

この説明会は、これからも各地で行う予定となっております。ここで
質疑応答があったことを公開してほしいと思うのですが、説明会の
議事録は公開するのか。

（学校教育課長）

議事録ではなく要旨についてまとめたものを公開したいと思います。